

平成24年8月6日

第101号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/>



安達太良山山頂（福島県二本松市）
（撮影者：福島森林管理署 渋谷 英夫）

平成23年7月新潟・福島豪雨への対応について

森林整備部 治山課

私と国有林「森林づくりを目指して」

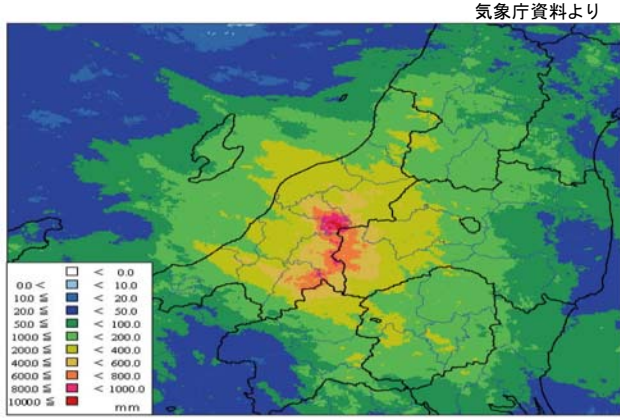
美しい背あぶりの森をつくる会 代表 雪 孝一 氏

『平成23年7月新潟・福島豪雨への対応について』

森林整備部 治山課

平成23年7月28日から30日にかけて、上空に強い寒気を伴った前線が朝鮮半島から北陸地方を通って関東の東に停滞し、これに向かつて非常に湿った暖気が日本海側から流れ込んだ結果、大気の状態が非常に不安定になり積乱雲が発達、新潟県中越地方及び福島県会津地方を中心に1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が降り続き、3日間で局地的に1000ミリを超過する記録的な豪雨となりました。

解析雨量による総降水量分布図(推定)(7月27日~30日)



新潟県三条市、福島県南会津郡只見町では、解析雨量による総降水量が、1,000ミリを超えたところがあった



山腹崩壊と氾濫河川:南会津支署管内(民有林)

これにより、新潟県や福島県の各地で堤防の決壊や河川の氾濫、山崩れが発生し、集落や農地をはじめ、道路や鉄道、電力、給水などの生活インフラに甚大な被害を与え、死者・行方不明者は合わせて6名に及び大災害となりました。



山腹崩壊:中越森林管理署管内(新潟県魚沼市)

また、国有林の被害は、新潟県や福島県のみならず群馬県北部にも及び、40余りの林道路線のほか数十箇所以上で林地荒廃や治山施設への被害が生じました。



被災状況調査:南会津支署管内(福島県南会津町)

この豪雨に対し、中越森林管理署には災害対策本部、会津森林管理署南会津支署には災害情報連絡室が設置され現地の情報収集に当たるとともに、天候の回復後には、国有林防災ボランティアの協力を得つつ、速やかに詳細な被害状況を把握するとともに2次災害防止のための土砂流出防止措置等の応急復旧工事を行いました。



ヘリ操縦士とのフライト前のミーティング



民有林で発生した土砂ダム:新潟県三条市

一方、関東森林管理局においては、天候の回復後直ちに実施したヘリコプターによる広範な被害状況調査では、民有林内に土砂ダム（河道閉塞）を発見し関係自治体（河道閉塞）を発見し関係自治体に通報するなど、民有林を含めた流域全体の被害状況の速やかな把握及び関係自治体との円滑な情報共有に努めました。

また、これらの林地荒廃等の箇所については、今後の降雨等により、荒廃の拡大や更なる土砂流出のおそれがあることから、速やかに、災害復旧事業を実施するための復旧計画の策定及び予算申請等の手続きが進められました。



ヘリ内部



応急復旧措置:利根沼田森林管理署管内 (群馬県みなかみ町)

これらの被災地域では、現在も新潟と福島を結ぶ重要路線であるJR只見線が一部不通のままとなっているなど、豪雨の痛ましい爪痕が未だ各地に残されている状況ですが、関東森林管理局においては、地域の安全で安心な生活が一日でも早く取り戻せるよう、豪雪地帯にあつて工期短縮を図るためのコンクリートブロック工法の採用など、本格復旧に向けた治山等の工事に鋭意、取り組んでいるところです。



コンクリートブロック製造ヤード: 同右



復旧治山工事:中越森林管理署管内 (新潟県魚沼市)



高尾の森から

高尾山は海拔600m程の山ですが、植物相や昆虫相が大変豊かな山として有名です。それは、冷温帯林と暖温帯林の境目に位置し、多くの種類の樹木や草本が繁茂するためです。したがって、西の大坂箕面国有林と双壁をなす昆虫のメッカといわれています。

今回は、東京神奈川森林管理署所属の森林保護巡視員（GSS）をはじめ、鳥や昆虫の愛好家や写真家が写し撮った、昆虫相の豊かな証でもある、高尾山で見られる代表的な蝶を紹介します。

①ミヤマカラスアゲハ

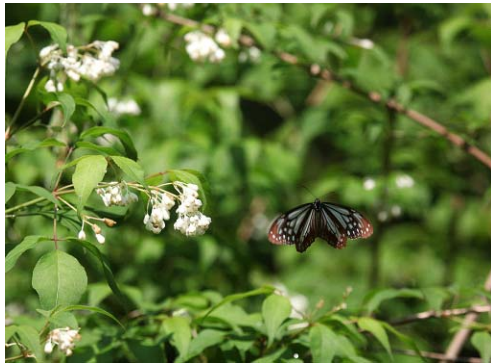
アゲハチョウ科



初夏から盛夏にかけて、高尾山周辺の水が染み出す林道で見かけるアゲハチョウの一種です。雄は全身がビロード状の光沢が青色や緑色に光線具合で変化します。つい採取したくなる非常に美しい大型（翼を広げて10cmを超える）の蝶です。幼虫は高尾山に多いミカン科のカラスザンショウやキハダを食樹とします。最近では心ない蝶の愛好家がむやみに捕獲するので減り続けています。

②アサギマダラ

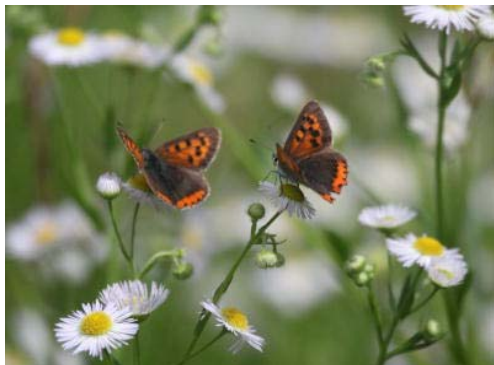
マダラチョウ科



内に蓄積され天敵から身を守ることになりやす。成虫もある程度の毒を持ちますが、食べたものに吐き気やまじいと感じさせる程度だそうです。また、アサギマダラは列島を季節毎に往来することでも有名です。羽に認識番号を書いて放すマーキング調査では、大阪から台湾までの2千キロの飛翔記録が報告されています。風に乗って滑空するものと考えられています。

③ベニシジミ

シジミチョウ科



足元をすばしこく飛び回る蝶です。食草はスイバやギンギンです。

④オオムラサキ

タテハチョウ科



5月頃満開のウツギの花に飛来した姿です。翼長は10cm弱。幼虫は、高尾山では林内でよく見かけるキジヨランを食草とします。葉に含まれるアルカロイドが幼虫体

林道沿いのヒメジョオンの花で吸蜜する色の濃い夏型ベニシジミです。翼長は3cm程です。人家周辺の草地や河川敷など明るく開けた場所に多く見られます。

昭和32年に国蝶に指定されました。晴天日の昼頃、水たまりに吸水にきた雄を、余りの華麗さに感動しながら撮影されたものです。翼長は9cm程、幼虫は、高尾山の所々に自生するエノキの葉が食樹です。初夏から盛夏にかけて羽化する大型の蝶です。昨年は出現数も多く、滑空しながら飛翔し、成虫はクヌギの樹液に集まります。生物多様性の保全が叫ばれている今日、大都市圏の間近で多くの生物を育む高尾山の森を、関係機関と連携し的確に保全管理することへの期待が高まっています。

平成24年度
国有林野事業見学会について

計画部 指導普及課

本年度の事業見学会は、「歴史ある那須街道のアカマツ林と純白のゴヨウツツジの群落を見に行こう」と題して、6月1日（金）に24名の参加者により実施しました。

栃木県那須塩原市の那須街道アカマツ林は、宮内省所管の御料林でしたが、昭和22年に林野庁所管の国有林となったものです。

終戦後の食糧増産が必要な時代には、全て開墾される計画もありましたが、那須街道より50坪は、街道通行者にアカマツ林の美しい風景を供するために開墾されずに残され、現在、アカマツ遺伝資源保存林に設定されています。

この貴重なアカマツ林を後世に残そうと、国有林と地元のボランティアア団体が協力して、保全活動を行っています。

見学会では、はじめにアカマツ林の保全活動、長年にわたり行われているオオタカの保護活動等について職員及びオオタカ保護基金の遠藤氏から概要の説明がされました。



那須街道のアカマツ林

その後、林内の歩道を野鳥の観察やさえざりを聴きながら散策を行い、松が枯れて空いた箇所、後継樹の植樹体験を行いました。

参加者からは、「木の管理は地道で人手のかかる事業であると再確認しました。」「一度伐つたり枯れた木は、何十年も過ぎなければ戻りません。コスト面で難しいことも多いと思います。」「日本の森林を守ってください。」「との声がありました。」「昼食後、国有林を利用した「森林レクリエーション」事業として、マウンテンジーンズの那須スキー場で期

間限定で運行されているゴンドラを利用して、敬宮愛子内親王様のお印の花としても名高いゴヨウツツジの群落を見学しました。



参加者による植樹の様子

当日は、雨上がりで周りの山並みは雲の切れ間に垣間見える程度でしたが、日当たりの良い斜面のゴヨウツツジの花が見事に咲き誇り、参加者からは、「見事なゴヨウツツジの群落に出会えて感動しました。」「との声がありました。」

参加者には、里山での貴重な生態系を見学し、市街地に隣接する森林について考える一日になったと思います。

植樹された後継樹の成長を楽しみに、アカマツ林に足を運んでいただければと願っております。



ゴヨウツツジの群落

幹部の紹介

8月1日付け（ ）は前職

森林管理署署長

▽茨城森林管理署

署長 赤木 利行

(近畿中国森林管理局

森林整備部長

私と国有林

「森林づくりを目指して」

美しい背あぶりの森をつくる会 代表 雪 孝一

私が所属する美しい背あぶりの森をつくる会は平成13年10月に一般公募し、森林づくりを通じて「森林との共生」「緑を大切に」等といった目的に賛同していただいた方々約20名で結成活動を始めました。この頃会津森林管理署担当者から会津若松市東山ダム周辺の湯本山国有林の紹介を受け、

- (1) 広さが約一・五畝と会で管理できる広さである。
- (2) 道路続きである。
- (3) あまり森林の中に入らない。

等を理由に、この場所で森林づくりを始めることにしました。

そして、管理署担当者の指導を得ながら始めてみると、背たけもあるヨシ、クズ等草刈には大敵な植物ばかりで、我々には手に負えないような状態でした。そこで助成金を申請し、その助成金により土の表面のヨシの根、クズ等を取り除く作業をし、やっと平成14年の10月に第1回目の植林をすることができました。

そして、この場所を「悠遊の森林(もり)」と会では命名し、サクラ、

トチ、ミズナラ、コナラ、モミジ等を植林したのですが、一番活着率の悪かったのは意外な結果で、ミズナラ、コナラでした。そこで会員の私たちと色々調べてみると、この土壌は東山ダム建設中の土捨て場だったので、水はけの良い所と悪い所が



クリーンアップ作戦

極端になっていったためと判断し、枯れては植え、枯れては植えてきました。

この「悠遊の森林」では、6月と10月には里山づくりというテーマで一般公募した参加者と一緒になって植林をしたり、枯れた木を植え直したり、樹木の剪定等の活動をしています。そのイベントのため、1ヶ月前から会員の私たちは週末になると草刈をしてイベントの準備をしています。植林して10年目にして、サクラ、コブシの花が咲いてくれたことは、大きな成果であるとともに嬉



森林散策会

しいものでした。

また、「悠遊の森林」の北側に蛇沢という名の沢があり、その途中にあるちよつとした平場をホタルの住める沢づくりとして草を刈ったり、カワニナを放したりいろいろと試してみました。あまり効果は出ていませんが、これからも続けていくつもりです。

この活動が平成15年9月国土緑化推進機構全国育樹活動コンクールで「緑化推進機構理事長賞」という大きな賞をいただき会員一同大変喜んでます。

これからも悠遊の森林づくり活動を会員の方々と一緒になって盛り上げていきたいと思えます。



表彰を受けた著者(左から2番目)

森づくりの最前線

下越森林管理署 村杉森林事務所 森林官 小林 智崇



五頭山から

私が勤務している村杉森林事務所は、新潟県の北東部に位置し、阿賀野市にかかる約3,220㍍の国有林を管轄しています。管内の人工林の割合はおよそ半分程度です。

管内国有林には、レクリエーションの森の「五頭自然休養林」があり、阿賀野市・阿賀町の境界にまたがる五頭連峰の松平山・五頭山・菱ヶ岳を中心として、原生的な天然林などの優れた自然景観があり、自然観察などに利用されています。登山ルートも様々あり、小中学生から高齢者まで楽しめるようになっており、山頂での展望も良く条件が良ければ佐渡島も眺めることができ、登山シーズンともなると多くの登山者で賑わっております。特に最近は平日などでも多くの登山者が入林しているようで休日平日問わず人気の登山コースとなっています。

山麓にはキャンプ場や自然散策路等が設置されており、キャンプ、ハイキングなどの野外スポーツの場としても利用されています。

また、管内には五頭温泉郷もあり、温泉地としても多くの観光客が訪れております。当事務所と同じ地区には村杉温泉があります。

国有林を貸付・使用しているものや、国有林に近い観光施設などもあることから、入山者に向けての山火事用心や不法投棄防止など注意しつつ、国有林の大切さをより多くアピールするとともに、安全に利用できるよう巡視等を引き続き行っていきたいと思っております。

当事務所は、森林官1人のため、業務に応じて臨時作業員や下越森林管理署職員等の応援などにより対応しています。特に地元の国有林を知っている人には現場作業では大変お世話になっていますが、作業日が合わないこともあるなど、1人の事務所の大変さを感じています。



五頭自然休養林



五頭山登山道入口

このような中で、国有林の境界管理や林道等の点検を行うとともに、森林の現況調査や、各種請負事業の監督業務等が的確に進められるよう取り組んでいるところです。

当森林官になり今年で2年目になりましたが、新たな発見や初めてのことがらなど知らなかったことも多く、これからも日々勉強し色々なことに対応できるよう努めていきたいと思っております。



割石林道から

管内のいちおしスポット 安達太良山

■ 福島森林管理署 <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/index.html>
 〒960-8055 福島県福島市野田町 7-10-4
 TEL:024(535)0121(代表) FAX:024(535)6514



「樹下の二人」の歌碑

「あれが阿多多羅山 あの光るのが阿武隈川。ここはあなたの生まれたふるさと あの小さな白壁の点点があなたの家の酒庫」(樹下の二人)「阿多多羅山の山の上に 毎日出ている青い空が 智恵子のほんとの空だといふ」(あどけない話)

詩人・彫刻家として有名な高村光太郎の詩集「智恵子抄」で詠われている安達太良山は、智恵子のふるさととして知られており、また、「樹下の二人」の詩で一躍有名になりました。光太郎が「樹下の二人」を作った場所(二本松市)には、光太郎自筆で刻まれた歌碑があります。きっとこの詩を読まれたら安達太良山を見たくならないと思います。



「樹下の二人」を作った場所から安達太良山を望む

この安達太良山は、二本松市の西に位置し、東北に9°、南北に14°にわたる連峰で、山頂部は北から鬼面山、箕輪山、鉄山、船明神山、安達太良山、和尚山が南北に連なっています。主峰の安達太良山(1,700)は、頂上の岩石が乳頭のように盛り上がっているため「乳頭山」とも呼ばれ、この頂上からは、間近の鉄山をはじめとして、安達太良連峰、磐梯山や吾妻、飯豊連峰など360度の大パノラマが楽しめます。



沼の平火口

また、山頂部の西側には沼の平火口(直径1.2、深さ150)があります。明治33年(1900年)の大爆発によってできた噴火口で、荒々しい山肌がそそり立ち、月世界を思わせる不気味な様相を呈しており、現在でも有毒な火山ガスの噴出が続いているため、この付近一帯は立ち入り禁止となっています。

安達太良山には登山コースが数多く、すべての登山口に温泉があり、下山後の疲れた体をゆったり休めることができます。

最も代表的なコースは、奥岳登山口からのコースで、ゴンドラを利用できることから圧倒的に多くの登山者が訪れます。薬師岳(1,350)までゴンドラが運んでくれ、そこから標高差350を1時間30分位で山頂に着くことができます。また、登山口付近には、特に優れた景観の溪谷が1にわたってあたらは溪谷自然遊歩道として整備されており、1時間程度で一巡できる手軽なコースとして、自然の溪谷美を存分に堪能できるようになっています。

塩沢登山口からのコースは、湯川溪谷を登っていく登山道で、途中、大小の滝、鎖場や溪谷を渡る地点があり、橋が流されているときなどは水に浸かって渡らなければならないときがあるなど、注意が必要な場所が多くありますが、登山者も少なく楽しめるコースでお勧めです。

四季を通して楽しめる安達太良山ですが、初夏にはハクサンシャクナゲが咲き乱れ、秋には素晴らしい紅葉を見ることができ、また、美しい溪谷は心を和ませてくれます。そんな、安達太良山へ是非一度お出かけになってみてはいかがでしょうか。

■ ■ 編 発
 F T 行
 A E 集
 X L 所
 (0) (0)
 (2) (2)
 (7) (7)
 2 2
 1 1
 0 0
 ・ ・
 1 1
 1 1
 5 5
 9 8
 課 局

(福島森林管理署 広報広聴連絡官 武藤 敏雄)